

# ほうしゃ<sup>せん</sup>線ってどこにあるの？



(出典)文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」

【原\_資料101】 放射線ってどこにあるの？(低学年用)

- 放射線は、宇宙から降り注いだり、地面、空気、食べ物から出たりしており、私たちは放射線がある中で暮らしています。

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.9

# ほうしゃ<sup>せん</sup>線とは？

身<sup>み</sup>のまわりにあるけれど、

✕ 見<sup>み</sup>たり ✕ ✕  
✕ さわ<sup>さわ</sup>ったり できません。

におい もありません。



【原\_資料102】 放射線とは？（低学年用）

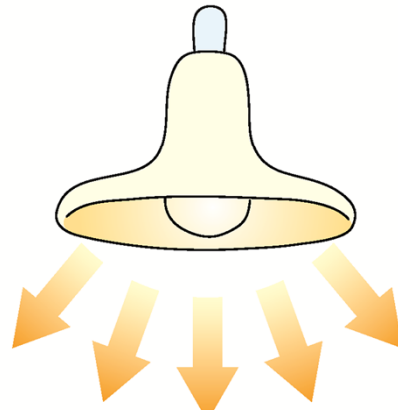
- 放射線は、私たちの身のまわりにありますが、目で見たり、手で触れたりすることはできません。また、匂いもありません。

参考：文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.9

# ほうしゃせん<sup>せん</sup>とほうしゃせいぶっしつ

でんきゅう  
電球

……ほうしゃせいぶっしつ  
放射性物質



ひかり  
光

……ほうしゃせん  
放射線

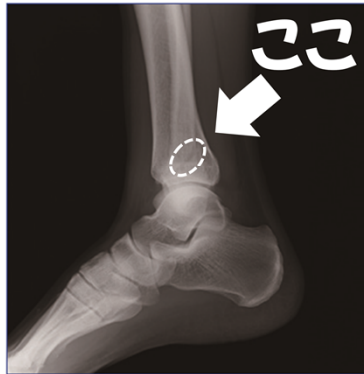
(出典)文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」

## 【原\_資料103】 放射線と放射性物質

- 放射線は、宇宙から降り注いだり、植物や岩石など自然から出たりしています。
- 放射線を出すものを放射性物質といいます。放射性物質には色々な種類があります(セシウム137、セシウム134、ヨウ素131など)。
- 放射性物質を電球に例えると、放射線は光に例えることができます。

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.9-10  
文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」p.9

# ほうしゃ<sup>せん</sup>線の、ものをおいぬける はたらきをつかって…



(出典) 文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」

どこのほねが  
おれているか  
わかるかな？

〈レントゲン〉

## 【原\_資料104】 放射線の利用例(低学年用)①

- 放射線には、物を通り抜ける働きがあります。この働きを利用した例としてレントゲンがあります。
- 写真は、人の骨をレントゲンで写したものです。レントゲンを撮ると、どこが骨折しているのかがわかります。

参考: 文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」p.7

# ほうしゃ<sup>せん</sup>線の、ものをつよくする はたらきをつかって…



(出典)文部科学省「放射線について考えてみよう  
小学生のための放射線副読本」

## 〈じょうぶなタイヤづくり〉

### 【原\_資料104】 放射線の利用例(低学年用)②

- 放射線には、物を強くする働きがあります。この働きは、丈夫なタイヤを作るために利用されたりしています。

参考: 文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」p.8

【原\_資料104】 放射線の利用例(低学年用)③

# ほうしゃ<sup>せん</sup>線の、ばいきんをたいじする はたらきをつかって…



〔出典〕文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」

## 〈びょういんでつかうもののしょうどく〉

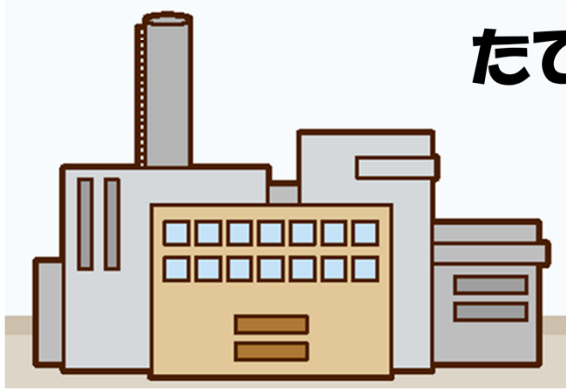
【原\_資料104】 放射線の利用例(低学年用)③

- 放射線には、細菌を退治する働きがあります。この働きは、病院で使われている注射器などの滅菌に利用されたりしています。

参考: 文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」p.8

**げんしりょくはつでんしょ とは？**

**ほうしゃせいぶっしつを  
つかって、でん<sup>き</sup>氣をつくる  
たてものです。**



〔出典〕新潟県「知っておこうもの時 原子力防災のしおり」

【原\_資料105】 原子力発電所とは？

- 発電所とは、電気を作るための施設です。原子力発電所では、放射性物質を使って電気が作られています。

# にいがたけんには、 げんしいうくはつでんしょがあります

[ばしょ]



## くかしわざきかいわ げんしいうくはつでんしょ

【原\_資料106】 柏崎刈羽原子力発電所とは？(低学年用)

- 私たちが住む新潟県には、原子力発電所があります。柏崎刈羽原子力発電所という名前で、柏崎市と刈羽村にまたがって位置しています。
- 原子力発電所では、放射性物質を使って電気が作られています。


【原\_資料107】 放射線が体にあたると、どうなるの？（低学年用）

# ほうしゃ<sup>せん</sup>線が<sup>からだ</sup>体にあたると、 どうなるの？


わたしたちは、しぜんから  
いつもほうしゃ<sup>せん</sup>線を  
うけています




うちゅう



くうき




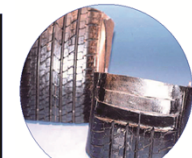
じめん



たべもの

ほうしゃ<sup>せん</sup>線のはたらきをつかった  
ものもたくさんあります。





（出典）文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」

## しかし、ほうしゃ<sup>せん</sup>線がたくさん<sup>からだ</sup>体にあたると、 けんこうによくありません。

【原\_資料107】 放射線が体にあたると、どうなるの？（低学年用）

- 私たちの身のまわりには放射線があり、宇宙、地面、空気、食べ物などの自然界から常に放射線を体に受けています。
- また、放射線には私たちの生活に役立つ様々な働きがあり、レントゲン写真やタイヤの耐久性向上や、病院で使う注射器などの滅菌等で放射線が使われています。
- しかし、たくさんの放射線が体にあたると、やけどをしたり、がんなどの病気になったりすることがこれまでの研究や調査で確かめられています※。
- ただし、放射線が体にあたっても、風邪などをひくときのウイルスとは異なり、人から人へ放射線がうつることはありません。

参考：文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.5,12

※身体に受けた放射線量に応じた影響についての詳細は、国立研究開発法人 放射線医学総合研究所による「放射線被ばくの早見図」

（<http://www.nirs.go.jp/information/event/report/2013/0729>よりダウンロード可能）を参考のこと。

# もし、げんしよくはつでんしょで じこがおきると...



(出典)新潟県「知っておこうもしもの時 原子力防災のしおり」

たくさんせんのほうしゃ線  
がそとに出でてしまう  
かもしれません

そのときは、ほうしゃ線せんから身みを  
まもらなければなりません

## 【原\_資料108】 原子力発電所で事故が起きると...

- 原子力発電所では、放射性物質や放射線を施設内で安全に管理しつつ、放射性物質を使って電気を作っています。
- しかし、万が一、原子力発電所で事故が起きると放射性物質が原子力発電所から外へ放出されてしまう可能性があります。
- そのような事故になった時、私たちは放射線をたくさんあびないように、身を守らなければなりません。

# ほうしゃ<sup>せん</sup>線から身<sup>み</sup>をまもるには？



げんしよくはつでんしょ  
からとおくにいどうする



たてもの<sup>なか</sup>の中にはいる

文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」、  
新潟県「知っておこうもしもの時 原子力防災のしおり」より作成

まわりの大人<sup>おとな</sup>の言うこと<sup>い</sup>をよく聞いて<sup>き</sup>  
こうどうすることも たいせつです。

## 【原\_資料109】 放射線から身を守るには？

- 原子力発電所から遠くへ移動したり、建物の中に入ることによって放射線から身を守ることができます。
- 原子力発電所から遠くへ移動するのは、放射性物質から離れるほど、体に受ける放射線量を低くすることができるからです。
- また、放射線はコンクリートなどにより遮へいできるため、建物の中へ入ることでも体に受ける放射線量を少なくすることができます。木材よりコンクリートの方が遮へい効果が高いので、コンクリートでできた建物に入ることがより有効です。
- なお、放射線から身を守るためにとるべき行動は事故の状況等に応じて変わるため、先生などのまわりの大人の言うことをよく聞いて、適切に行動することが大切です。

参考：文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.13

# ほう しゃ せん 放射線ってどこにあるの？



(出典)文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」

【原\_資料110】 放射線ってどこにあるの？(中学年用)

- 放射線は、宇宙から降り注いだり、地面、空気、食べ物から出たりしており、私たちは放射線がある中で暮らしています。

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.9

## ほう しゃ せん 放射線とは？

<sup>み</sup>身のまわりにあるけれど、

<sup>み</sup>見たり   



さわったり できません。

におい もありません。



【原\_資料111】 放射線とは？(中学年用)

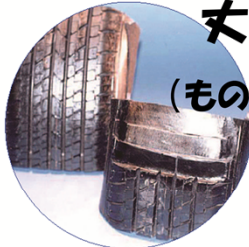
- 放射線は、私たちの身のまわりにありますが、目で見たり、手で触れたりすることはできません。また、匂いもありません。

参考：文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.9

# 生活の中で使われている放射線



**レントゲン**  
(ものを通り抜ける  
働きを使って)



**丈夫なタイヤづくり**  
(ものを強くする働きを使って)



**病院で使うものの消毒**  
(細菌を退治する働きを使って)

(出典)文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」

## 【原\_資料112】 放射線の利用例(中学年用)

- 放射線には様々な働きがあり、生活の様々な(多くの)場面で利用されています。
- 放射線の物を通り抜ける働きを利用した例としてレントゲンがあります。
- 放射線の物を強くする働きは、丈夫なタイヤを作るために利用されています。
- 放射線の細菌を退治する働きは、病院で使われている注射器などの滅菌に利用されています。

参考: 文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」p.7-8

# ほう しゃ せん からだ 放射線が体にあたると、どうなるの？

わたし し せん  
私たちは、自然からいつも  
ほう しゃ せん う  
放射線を受けています。



ほう しゃ せん はたら つか  
放射線の働きを使った  
ものもたくさんあります。



(出典)文部科学省「放射線について考えてみよう小学生のための放射線副読本」

ほう しゃ せん からだ  
しかし、放射線がたくさん体にあたると、  
けん こう よ  
健康に良くありません。

## 【原\_資料113】 放射線が体にあたると、どうなるの？(中学年用)

- 私たちの身のまわりには放射線があり、宇宙、地面、空気、食べ物などの自然界から常に放射線を体に受けています。
- また、放射線には私たちの生活に役立つ様々な働きがあり、レントゲン写真やタイヤの耐久性向上や、病院で使う注射器などの滅菌等で放射線が使われています。
- しかし、たくさんの放射線が体にあたると、やけどをしたり、がんなどの病気になったりすることがこれまでの研究や調査で確かめられています※。
- ただし、放射線が体にあたっても、風邪などをひくときのウイルスとは異なり、人から人へ放射線がうつることはありません。

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.12

※身体に受けた放射線量に応じた影響についての詳細は、国立研究開発法人 放射線医学総合研究所による「放射線被ばくの早見図」

(<http://www.nirs.go.jp/information/event/report/2013/0729>よりダウンロード可能)を参考のこと。

# げん し りょく さい がい 原子力災害とは？



じ こ げん し りょく はつ でん しょ ぞと  
事故などにより原子力発電所の外へたくさん  
ほうしゃせいぶつ ほうしゅつ ひとびと けんこう せい かつ  
の放射性物質が放出され、人々の健康や生活  
えいきょう あた  
に影響を与えること


【原\_資料114】 原子力災害とは？

- 事故などにより原子力発電所の外へたくさんの放射性物質が放出され、人々の健康や生活に影響を与えることを「原子力災害」といいます。

【原\_資料115】 これまでに起きた原子力災害(福島第一原子力発電所事故)

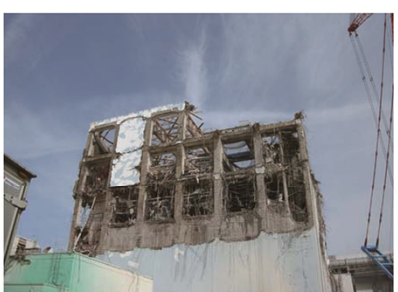
# これまで起きた原子力災害

## 〈福島第一原子力発電所事故〉



にいがたけん  
新潟県

ふくしま だい いち げん し りょく はつ でん し ょ じ こ  
福島第一  
原子力発電所



(出典) 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」

## 平成23年3月11日に起きた大地震と津波に

## よって福島第一原子力発電所で事故が起こり、

## 原子力災害が発生しました。

【原\_資料115】 これまでに起きた原子力災害(福島第一原子力発電所事故)

- 原子力災害はこれまでに国内外で発生したことがあります。
- 最近では、平成23年3月11日に起きた大地震と津波によって福島第一原子力発電所で事故が起こり、原子力災害が発生しました。事故により、原子力発電所から放射性物質がたくさん放出され、行政の指示により、発電所周辺では地域住民が避難したり、一部の地域で水道水の摂取や食品の摂取・出荷が制限されたりしました。

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.3-8

にい がた けん  
**新潟県には、原子力発電所があります**

ば し ょ  
**[場所]**



かしわざき かい わ げん し り ゃく はつ でん し ょ  
**<柏崎刈羽原子力発電所>**



げん し り ゃく はつ でん し ょ  
**原子力発電所では、**  
ほうしゃ せいぶつ つか  
**放射性物質を使って、**  
でん き つく  
**電気が作られています。**

【原\_資料116】 柏崎刈羽原子力発電所とは？(中学年用)

- 私たちが住む新潟県には、原子力発電所があります。柏崎刈羽原子力発電所という名前で、柏崎市と刈羽村にまたがって位置しています。
- 原子力発電所では、放射性物質を使って電気が作られています。

# 原子力災害時、放射線や放射性物質から 身を守るには？




## 【原\_資料117】 原子力災害時、放射線や放射性物質から身を守るには？

- 原子力災害時は、原子力発電所から放出された放射性物質が風に乗って飛んで来ることがあります。
- 放射線から身を守るためには、体の外から受ける放射線の量を少なくする(外部被ばくを避ける)ことと、口や鼻から体内に放射性物質をたくさん取り込まないようにする(内部被ばくを避ける)ことが大切です。


【原\_資料118】 外部被ばくを避けるには？

# <sup>からだ そと う ほう しゃ せん りょう</sup> 体の外から受ける放射線の量を <sup>すく</sup> 少なくするには？




ほうしゃせい  
ぶっしつ

① <sup>ほうしゃせいぶっしつ</sup>  
放射性物質からはなれる



たてもの

② <sup>たてもの</sup>  
コンクリートなどの建物の  
<sup>なか</sup>  
中に入る



ほうしゃせい  
ぶっしつ

③ <sup>ほうしゃせん</sup> 放射線を受ける時間を短  
<sup>じかん みじか</sup>  
くする

文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」、新潟県「知っておこうももの時 原子力防災のしおり」より作成

【原\_資料118】 外部被ばくを避けるには？

- 原子力災害時、体の外から受ける放射線量を少なくする方法には次の3つがあります。
  - 放射性物質から離れる：放射性物質から離れるほど、受ける放射線量を少なくすることができます
  - コンクリートなどの建物の中に入る：放射線はコンクリートなどにより遮へいできるため、建物の中に入ることで受ける放射線量を少なくすることができます  
(木造よりコンクリートの方が放射線を通しにくい性質があります)
  - 放射線を受ける時間を短くする：放射線を受ける時間が短いほど、受ける放射線量を少なくすることができます

参考：文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.13

# からだ なか ほう しゃ せいぶっ しつ 体の中に放射性物質をたくさん と こ 取り込まないようにするには？

くう き ちよくせつ す  
空気を直接吸いこまない  
(マスクやハンカチで口を  
おおいます)



ほか  
他にも、

て あら  
・手洗いうがい  
ながそでなが ちゃくよう  
・長袖長ズボンを着用

すること

いふく  
・衣服のほこりを落とし

たいすること

ゆうこう  
も有効です。

た もの  
食べ物にふくまれる  
し こ  
「事故による放射性  
ぶっしつ りよう  
物質の量」に気をつける  
たと あんぜん せい  
(例えば、安全性が確認  
や せい  
できない野生のものは食  
べないようにする。野菜  
はよくあら  
た  
洗って食べる。)



(出典) 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」

## 【原\_資料119】 内部被ばくを避けるには？

- 原子力災害時、体の中にたくさん放射性物質を入れないようにするには、次の方法が有効です。
  - マスクをつける／ハンカチで口をおおう
  - 健康のために制限された食べ物や飲み物はとらない
  - 手洗いうがいをする
  - 長袖長ズボンを着用する
  - 衣服のほこりを落とす

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.13-14

# 原子力災害時、情報を入手するには？



県・市町村

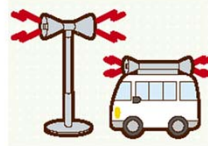
## ＜情報の内容＞

- ・事故の状況
- ・放射線の測定値
- ・避難指示 など

## ＜情報を伝える手段＞

- ・一斉放送
- ・広報車
- ・防災無線
- ・テレビ
- ・ラジオ など

住民



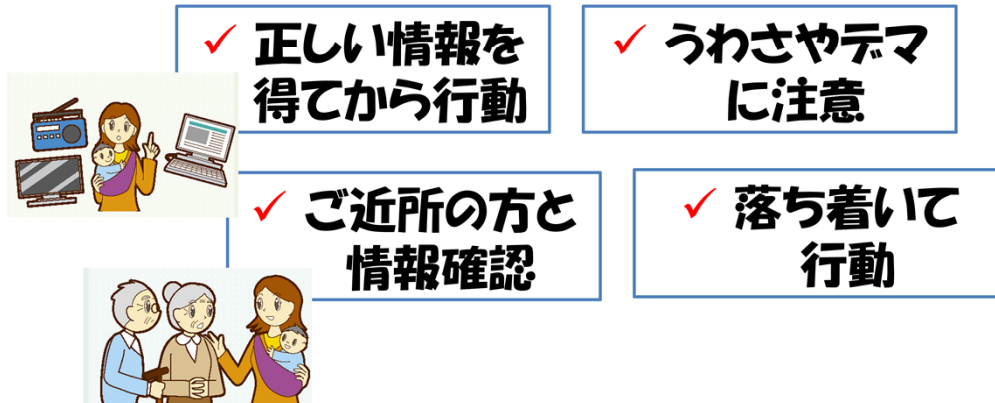
〔出典〕新潟県「知っておこうもしもの時 原子力防災のしおり」

## 【原\_資料120】 原子力災害時、情報を入手するには？

- 原子力災害時は、県・市町村から住民へ、事故の状況・放射線の測定値・避難の指示等の情報が伝えられます。
- 住民は、一斉放送・広報車・防災無線・テレビ・ラジオ等から情報を入手することができます。

# 原子力災害時、情報を入手する際に 心掛けることは？

県・市町村から出される正しい情報を入手し、  
焦らず落ち着いて行動することが大切です。



## 【原\_資料121】 原子力災害時、情報を入手する際に心掛けることは？

- 放射線や放射性物質は目に見えず触ることもできず、匂いもないため、原子力災害時は県・市町村から出される正しい情報を入手し、焦らず落ち着いて行動することが大切です。
- 原子力災害時、情報を入手する際の心構えとしては、次の4つが大切です。
  - 正しい情報を得てから行動すること：県・市町村が報じる正しい情報や指示を待ってから行動しましょう
  - うわさやデマに注意すること：災害時の混乱の中では、誤った情報が広がることもありますので注意しましょう
  - ご近所の方と情報確認をすること：お年寄りや体の不自由な方には、声をかけましょう
  - 落ち着いて行動すること：多くの人が集まる場所や道路では、警察官や消防士などの指示に従って落ち着いて行動しましょう

## 屋内退避をする時の注意点は？

「屋内退避」の指示が出たら…

放射性物質から身を守るため、家や指定された建物の中に入ります。



（出典）文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」

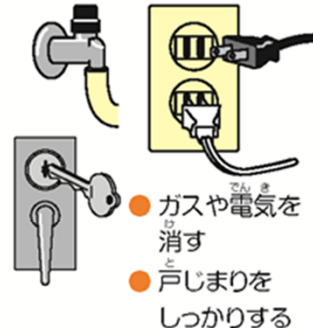
【原\_資料122】 屋内退避をする時の注意点は？

- 原子力災害時、県・市町村から「屋内退避」の指示が出た時は、家や指定された建物の中に入りましょう。
- 屋内退避時の注意点には、次の5つがあります。
  - ドアや窓を閉める
  - 外から帰って来たら顔や手を洗う
  - エアコン（外からの空気を取り込むもの）や換気扇の使用を控える
  - 食器に蓋をしたりラップを掛けたりする
  - 木造家屋より放射線が通り抜けにくいコンクリートの建物への避難指示が行われることもある

参考：文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.14

## 避難をする時の注意点は？

「避難」の指示が出たら…  
放射性物質から身を守る  
ため、家や指定された建  
物などからも離れて別の  
ところに移ります。



- 持ち物は少なく
- となり近所にも知らせる



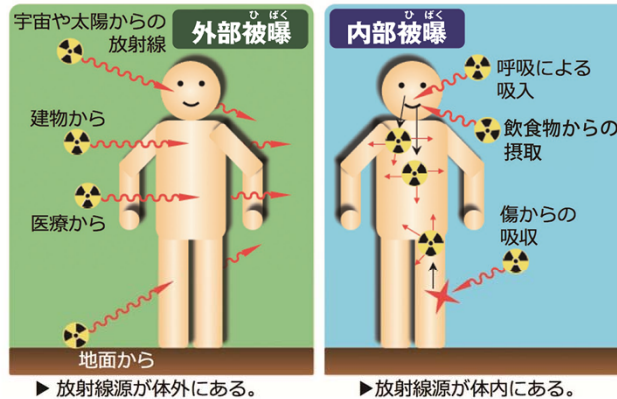
(出典)文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」

### 【原\_資料123】 避難をする時の注意点は？

- 原子力災害時、県・市町村から「避難」の指示が出た時は、家や指定された建物などからも離れて別のところに移りましょう。
- 避難時の注意点には、次の4つがあります。
  - ガスや電気を消す
  - 戸じまりをしっかりする
  - 持ち物は少なく
  - 隣近所にも知らせる

参考: 文部科学省「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」p.14

## 外部被曝と内部被曝



(出典)文部科学省「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」

**外部被曝:放射性物質が体の外部にあり、体外から被曝すること**

**内部被曝:口や鼻から体内に放射性物質が入ることによって、体内から被曝すること**

### 【原\_資料124】 外部被曝と内部被曝

- 外部被曝とは、放射性物質が体の外部にあり、体外から被曝することです。私たちは普段の生活の中で、地面や宇宙から自然放射線を受けたり、X線撮影などで人工放射線を受けたりすることがあります。
- 一方、内部被曝とは、口や鼻から体内に放射性物質が入ることによって、体内から被曝することです。内部被曝は、呼吸による吸入や、飲食物からの摂取、傷からの吸収によって起こります。
- 普段の生活の中で受ける放射線の量であれば健康を心配する必要はありませんが、原子力災害時は、過剰に外部被曝・内部被曝をしないように身を守る必要があります。

参考：文部科学省「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」 p. 11

# 福島第一原子力発電所事故 について



(出典)文部科学省「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」

**平成23年3月11日に起きた大地震と津波によって福島第一原子力発電所で事故が起こり、原子力災害が発生しました。**

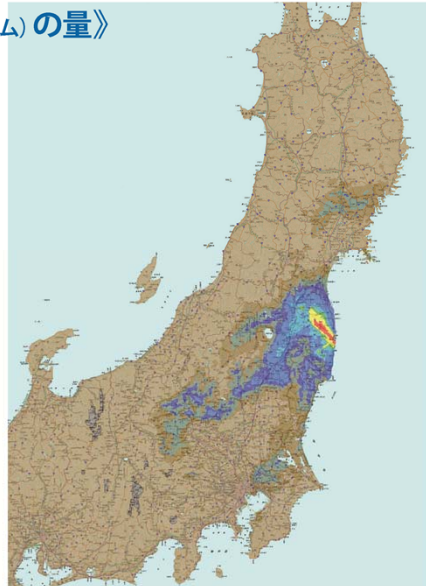
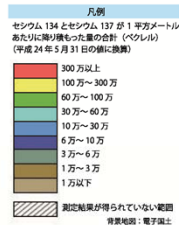
## 【原\_資料125】 福島第一原子力発電所事故について

- 平成23年3月11日に起きた大地震と津波によって福島第一原子力発電所で事故が起こり、原子力災害が発生しました。事故により、原子力発電所から放射性物質がたくさん放出され、行政の指示により、発電所周辺では地域住民が避難したり、一部の地域で水道水の摂取や食品の摂取・出荷が制限されたりするなど、深刻な被害が生じました。

参考:文部科学省「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」 p.3-8

# 福島第一原子力発電所事故後の状況①

## 《地面に落ちた放射性物質(セシウム)の量》



出典：「①北海道の航空機モニタリングの測定結果、及び  
②東日本全域の航空機モニタリングの結果の天然核種の  
影響を詳細に考慮した改訂について」(平成 24 年 7 月 27  
日文科科学省) より一部改変  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.3)

(出典) 文科科学省「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」

## 【原\_資料126】 福島第一原子力発電所事故後の状況①

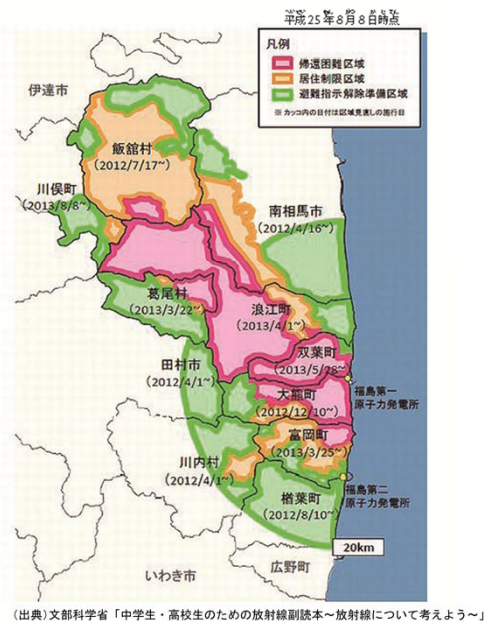
- 福島第一原子力発電所事故では、様々な種類の放射性物質が放出され、風によって飛ばされた放射性物質が広範囲にわたって地上に降りました。
- 地図を見ると、セシウムという種類の放射性物質が事故の後、どのあたりにどの程度の量が落ちたのかがわかります。

参考：文科科学省「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」p.3

## 福島第一原子力発電所事故後の状況②

### 《避難指示区域の概念図》

出典：経済産業省ウェブサイト  
「東日本大震災関連情報」  
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.2 P.4)



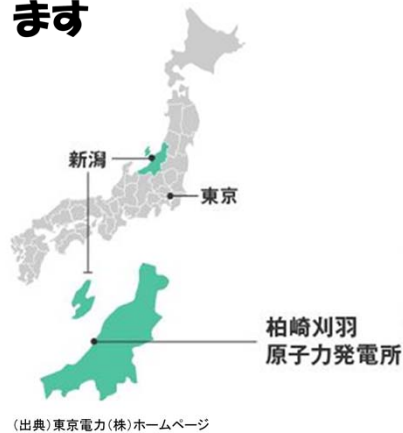
### 【原\_資料126】 福島第一原子力発電所事故後の状況②

- 事故の後、国は避難指示区域などを定め、発電所周辺の住民に避難指示を出しました。これにより、次のような事態も起こり、多くの人の生活に影響が生じました。
  - ・地域から遠く離れた場所まで避難した人々がいる
  - ・長期間の避難を余儀なくされている人々がいる
  - ・町まるごと移転を余儀なくされた地域がある
  - ・要配慮者の避難が困難であること など

参考：文部科学省「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」p.4

# 柏崎刈羽原子力発電所とは？

- ・場所：柏崎市と刈羽村にまたがって位置しています



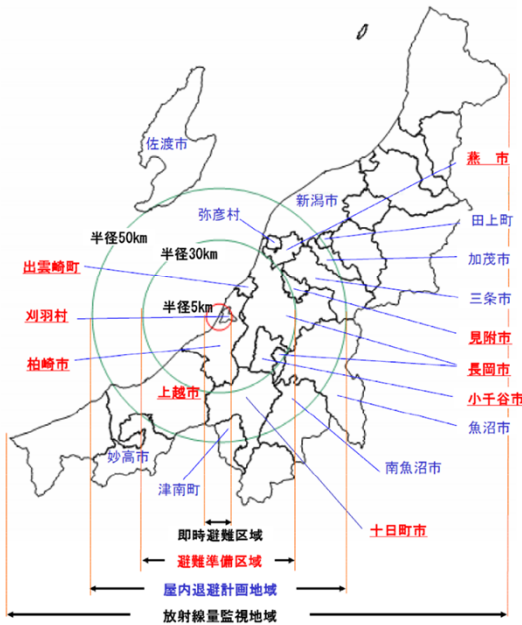
- ・面積：約420万平方メートル
- ・施設：発電施設は7つ  
合計出力は821.2万kW

【原\_資料127】 柏崎刈羽原子力発電所とは？（中学校用）

- 柏崎刈羽原子力発電所は、柏崎市と刈羽村にまたがって位置しています。
- 面積は約420万平方メートル。7つの発電施設があり、合計出力は821.2万キロワットとなっています。

参考：東京電力(株)ホームページ

# 新潟県内の原子力災害対策実施範囲



発電所からの距離に応じて、

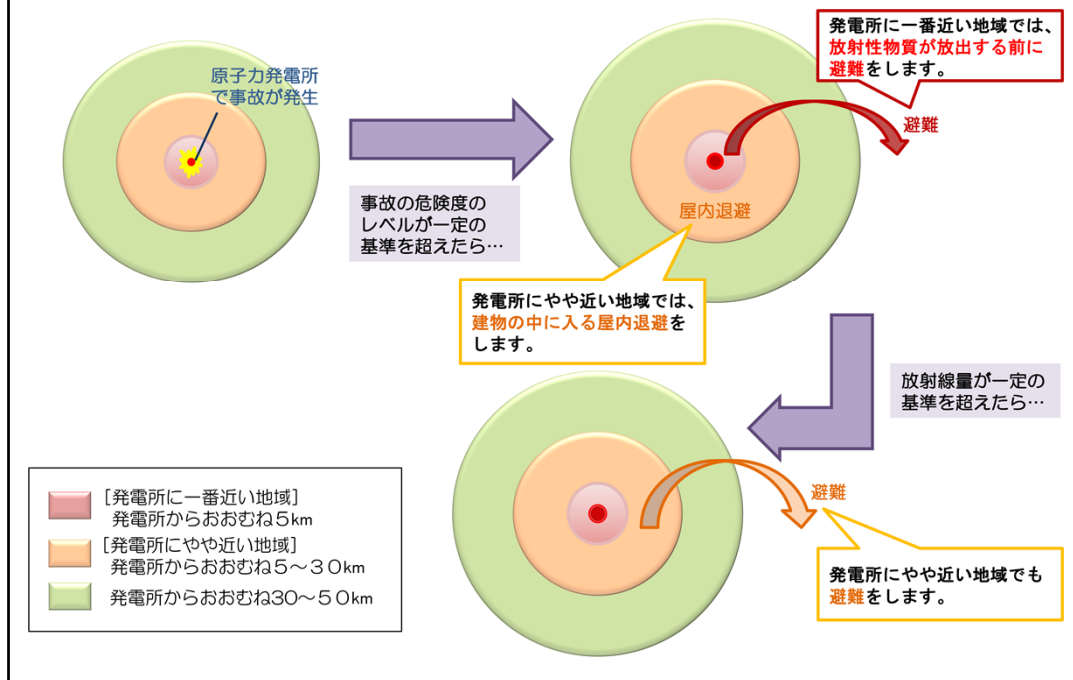
- **即時避難区域(PAZ)**  
: 発電所からおおむね5km圏内。
- **避難準備区域(UPZ)**  
: 発電所からおおむね5～30km圏内。
- **屋内退避計画地域(PPA)**  
: 発電所からおおむね30～50km圏内。
- **放射線量監視地域**: 県内全域であり、地域ごとに立地に合った対策がとられています。

## 【原\_資料128】 新潟県内の原子力災害対策実施範囲

- 新潟県内の原子力災害対策実施範囲は県内全域とされ、次のような区分に分かれています。それぞれ発電所からの距離に応じて必要な措置を講じるよう定められています。
- 即時避難区域（PAZ：Precautionary Action Zone）：発電所からおおむね5km圏内。原子力災害時は、原子力発電所の状態に応じて予防的な避難を開始することになります。
- 避難準備区域（UPZ：Urgent Protective action Planning Zone）：発電所からおおむね5～30km圏内。原子力災害時は、原子力発電所の状態に応じて屋内避難等を実施することになります。
- 屋内退避計画地域（PPA：Plume Protection Planning Area）：発電所からおおむね30～50km圏内。原子力災害時は、必要に応じて屋内退避等を行います。
- 放射線量監視地域：県内全域。安定ヨウ素剤の備蓄などの計画をあらかじめ策定する地域です。

参考：新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）平成26年3月修正

# 避難や屋内退避の流れ



## 【原\_資料129】 避難や屋内退避の流れ

- 柏崎刈羽原子力発電所で事故が起きた時の避難や屋内退避の流れを図で示すと、スライドのようなイメージとなります。
- 原子力発電所で事故が発生し、事故の危険度のレベルが一定の基準を超えた場合（全面緊急事態）、避難所に一番近い地域（即時避難区域PAZ）では放射性物質が放出する前に避難を実施し、発電所にやや近い地域（避難準備区域UPZ）では屋内退避を行うこととなります。
- その後、事故が進展し、空間放射線の測定結果が一定の基準を超えた場合は、避難準備区域UPZでも避難を実施します。

参考：新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）平成26年3月修正